

講義科目名称： グラフィックデザイン C5-S36-10 D4-C29-10 科目コード： 20520

英文科目名称： Graphic Design

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
3年前期	3	2	選択（教職「情報」は選択）
担当教員			
折山 良太			
添付ファイル			
講義概要	グラフィックデザインの基礎姿勢として「目」で見て「手」でつくるために必要な知識や美術的素養を学びます。 「色」「形」「文字」などを中心としたデザイン表現手法の基礎理論、構成技術を用いた演習・課題制作を行います。 アクティブラーニングを通してグラフィックデザインをより深く理解し、問題解決能力の基礎を養います。		
授業計画	1 ガイダンス ・授業のアウトライン・2週目以降必要な道具類の説明を行います。 準備学習：初回までにシラバスを読み、授業項目や目的を理解しておく 課題演習：配布プリント他で内容を指示する 2 デザイン・ファンデーション1 観察力：デザインや美術の基礎力を養います。 線と形（光と影、トーン）：影の描写、鉛筆を用いたハンドワークプロセスを学びます。 〔講義〕／〔演習問題〕課題と解説 AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：デッサン道具類の準備・持参 課題演習：グレースケールハッチング課題制作を予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照） 3 デザイン・ファンデーション2 観察力：デザインや美術の基礎力を養います。 構図（形状、パース）：静物の描写 物体を通してその内部の形を考えます。 〔講義〕／〔演習問題〕課題と解説 AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：③ 反転授業（出題した課題について授業内で解説） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：デッサン道具類の準備・持参、モチーフ※の準備（※”無地の紙コップ”を持参すること） 課題演習：図形スケッチ演習・デッサン課題制作を予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照） 4 デザイン・ファンデーション3 観察力：デザインや美術の基礎力を養います。 自然物（構造と観察）：スケッチ、デッサンなどを通して形状や質感を捉える手法を学びます。 〔講義〕／〔演習問題〕課題と解説 AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：デッサン道具類の準備・持参 課題演習：デッサン課題制作を予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照） 5 サインデザイン計画1（課題1 ロゴマークのアイデアエスキース作成） 構成力：モチーフを多面的に観察し、構成する力を養います。 「ロゴマーク」の課題制作を通してリサーチに基づく視覚表現までのハンドワークプロセスを学びます。 〔講義〕／〔演習問題〕課題と解説 ・デザインの現場 ワークフロー ・ロゴ・マーク/サインデザイン/ピクトグラム ・サイン計画とデザイナー AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：② 対話型授業2（発表・討論などの学生どうしの対話） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：サインデザインのリサーチ/アイデア・ディスカッション～ 課題演習：ロゴマーク課題のアイデアエスキース課題を予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照）		

6	サインデザイン計画2（課題1 ロゴマークのラフデザイン作成） 色と形に関する造詣を深め、構成する力を養います。 「ロゴマーク」の課題制作を通してリサーチに基づく視覚表現までのハンドワークプロセスを学びます。 〔講義〕 / 〔演習問題〕 課題と解説 ・配色・色の生理学 ・サイン計画の立案 AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：② 対話型授業2（発表・討論などの学生どうしの対話） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：グラフィックソフトの検索と 利用準備！ 課題演習：ロゴマーク課題のラフデザイン提示を予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照）
7	サインデザイン計画3（課題1 ロゴマークのカラーカンパ作成+コンセプトレポート） ロゴマーク ロゴタイプに関する造詣を深め、構成する力を養います。 「ロゴマーク」の課題制作を通してリサーチに基づく視覚表現までのハンドワークプロセスを学びます。 〔講義〕 / 〔演習問題〕 課題と解説 ・サイン計画のブランディング AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：② 対話型授業2（発表・討論などの学生どうしの対話） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：グラフィックソフト、作業用のパソコン環境準備！ 課題演習：ロゴマーク課題のカラーカンパ作成・印刷出力&コンセプトレポートを予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照）
8	サインデザイン計画4（課題2 名刺のラフデザイン作成） 文字（書体/フォント）の編集・レイアウトに関する造詣を深め、構成する力を養います。 「ビジネスカード」の課題制作を通してレイアウトデザインの原則を学びます。 〔講義〕 / 〔演習問題〕 課題と解説 ・書体/フォントのグラフィックデザイン史 AL：③ 反転授業（出題した課題について授業内で解説） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：一般名刺、ビジネスカードに関する事前リサーチ（※一般的な名刺を事前に準備し、持参すること。名刺デザインリサーチ、レイアウト採寸等を行う） 課題演習：ビジネスカードデザイン課題のラフデザイン提示を予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照）
9	サインデザイン計画5（課題2 名刺のカラーカンパ作成+簡易求評会） 文字（書体/フォント）の編集・レイアウトに関する造詣を深め、構成する力を養います。 「ビジネスカード」の課題制作を通してレイアウトデザインの原則を学びます。 〔講義〕 / 〔演習問題〕 課題と解説 ・書体/フォントのレイアウト AL：③ 反転授業（出題した課題について授業内で解説） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：使用書体（フォント）の検索と 利用準備！ 課題演習：ビジネスカードデザイン課題のカラーカンパ作成・印刷出力+簡易求評会を予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照）
10	タイポグラフィ1（課題3 タイポグラフィのアイデアエスキース作成1） タイポグラフィによる「文字を見せる（魅せる）」「文字を読ませる」手法を学びます。 〔講義〕 / 〔演習問題〕 課題と解説 ・タイポグラフィの基本文法 AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習 準備学習：タイポグラフィ課題のリサーチ・ディスカッション 課題演習：タイポグラフィ課題のコンセプト立案、エスキース課題を予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照）
11	タイポグラフィ2（課題3 タイポグラフィのアイデアエスキース作成2） 文字のデザインの造形感覚を養うとともに「タイポグラフィ」をテーマに学びます。 印刷物の可読性や、視認性、そしてその美しさを得るための活字の配置・構成に関する手法を学びます。 〔講義〕 / 〔演習問題〕 課題と解説 ・視線の動きとデザイン ・文字デザインの分析と分解 AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：② 対話型授業2（発表・討論などの学生どうしの対話） AL：④ 授業後に進化発展の自主学習

12 13 14 15 16 ※16 ※	準備学習：タイポグラフィ課題のグラフィック作業 課題演習：タイポグラフィ課題のコンセプト立案、追加エスキース課題を予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照） タイポグラフィ3（課題3タイポグラフィのラフデザイン作成） 創出：「真似る」という制作手法 模倣から生まれる創造力を養います。 デザインを分析し、デザインエッセンスを抽出・再構築された課題創出を行います。 〔講義〕 / 〔演習問題〕 課題と解説 ・文字のコンポジション AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：② 対話型授業2（発表・討論などの学生どうしの対話） AL：④ 授業後に進化発展の自主学习 準備学習：タイポグラフィ課題のグラフィック作業 課題演習：タイポグラフィ課題のラフデザイン提示を予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照） タイポグラフィ4（課題3タイポグラフィのカラーカンパ作成1） 〔講義〕 / 〔演習問題〕 課題と解説 ・カラーカンパの作成 AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：③ 反転授業（出題した課題について授業内で解説） 準備学習：カラーカンパ素材のリサーチ 課題演習：タイポグラフィ課題のカラーカンパ作成&コンセプトレポート立案 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照） タイポグラフィ5（課題3タイポグラフィのカラーカンパ作成2+コンセプトレポート+簡易 求評会） 〔講義〕 / 〔演習問題〕 課題と解説 ・カラーカンパのチェック+簡易求評会 ・印刷物作成関連の補足 AL：① 対話型授業1（教員と学生との対話） AL：③ 反転授業（出題した課題について授業内で解説） 準備学習：カラーカンパ カラープリンタでのカンパ出力 課題演習：タイポグラフィ課題のカラーカンパ完成・印刷出力&コンセプトレポートを予定 （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照） 授業総括 成績審査書類の提出アナウンス 授業アンケート他を予定 課題演習：提出物のチェック （※授業毎に配布する資料/演習シートに記載された内容を参照） ※16 ※定期試験該当 学期末指定日までに 単位認定・評価用複写資料 / 「成績審査書類一式」の封書提出 ※ 授業計画に関して※基本シラバスに準じるが、授業や課題進捗による変更がある場合、日程調整を行う場合がある
授業形態	講義と演習、実技課題の提出。 アクティブラーニング：①：10回, ②：5回, ③：5回, ④：10回, ⑤：0回, ⑥：0回 ① 対話型授業1（教員と学生との対話※） ② 対話型授業2（発表・討論などの学生同士の対話※） （※アクティブラーニングにおける対話型授業は感染防止の観点から電子メール等で対応予定） ③ 反転授業（出題した課題について授業内で解説） ④ 授業後に進化発展の自主学习
達成目標	「デザイン技法を体得する」基礎体験。 1）観察力（基礎） 2）構成力（標準） 3）創出力（応用） 描写、色彩・構成の各種演習・課題を通して「デザインすること」の基礎を修得してください。
評価方法・フィードバック	授業へ参加の姿勢、進捗エビデンス（指定する演習シート・デザイン関連作成課題、関連レポート）への取り組み、評価用「成績審査書類（複写物一式）」の提出内容による総合評価。 【進捗エビデンス】 ※授業への参加状況を確認する【エビデンス】の提出を毎回求める。提出内容に不備がある場合、【修正や再提出】を求め、課題発見や改善につなげるフィードバックとする。 ※課題・演習・レポート類は修正指示他に基づき課題原本として完成させること。 【成績審査書類】 ※単位認定に必要な学期末の評価用 / 【成績審査書類】に関して教員への提出用に 各種課題原本（指定する演習シート・デザイン関連作成課題、関連レポート）から直接コピー機でA4【複写】を作成し 学期末に指定する提出期日までに「成績審査書類一式（複写物一式）」を指定封書にまとめ大学窓口へ提出すること。（提出仔細に関しては別途アナウンスを行う）

評価基準	★各課題は週単位で進捗エビデンスのチェック、フィードバック、修正、ブラッシュアップ等の制作過程の期日提出、求評会への参加を成績審査の重点とする。 ★定期試験該当として学期末に完成された評価用「成績審査書類一式」提出内容で成績評価/単位認定を行う。 ※追試/再試は実施しません。 ★成績評価 秀:90点以上、優:89～80点、良:79～70点、可:69～60点、不可:59点以下 ※提出書類の不備・「指定期日の遵守ができない」「修正・再提出（フィードバック）に応じない」「進捗エビデンスの未提出」他がある場合 減点対象となり上記 単位所得点に達しない場合があるので注意。 ※提出書類に不正行為が発覚した場合は、大学に通達し・学期末の評価 をすべて無効(未評価)とする。
教科書・参考書	教科書：なし（授業内で必要に応じてプリント資料を配布する）
履修条件	※授業内でグラフィックソフトウェア類のオペレーション指導は行いません。 ※課題作成に必要なソフト類の操作は 課題実施までに自己学習で対応すること。 ★講義・課題は週単位で進行します。計画的に課題作成に取り組むようお願いします。 ★毎回指定する課題・演習・レポート類の実施およびエビデンス提出による進捗チェックが必要です ★エビデンスチェックを経た上で学期末指定期日まで複写された「成績審査書類一式」の提出が必要です。 ★教員からの連絡確認用に大学学生用 Outlookメールアカウント設定、定期的なメールチェックをすること。 ★大学WEBポータルに掲載される授業・課題掲示関連や出席履歴（出欠調査状況表） 定期的なチェックをすること。
履修上の注意	★紙や鉛筆等でのハンドワーク演習が中心ですが、カラーカンパ課題やレポート作成時にPCでのグラフィックソフトウェアの制作が必要です。 課題制作に必要な準備や道具類を忘れると作業に支障が生じますので注意してください。 1) 道具関連 ・課題制作に必要な道具・材料などは、学生各自にて用意すること。 ・デッサンやラフスケッチ用のスケッチブック（クロッキー帳）、各種鉛筆※（2B～B～HB）など、消しゴム・定規他が必要。 ※鉛筆は必須です。新規購入する必要はありません。自宅にあるもので代用可能なもので結構です。 ※詳細は関連ガイダンスで説明します。他に課題上必要となる道具・材料がある場合は事前にアナウンスします。 2) PC・グラフィックソフトウェア関連 ・各自所有のノートパソコン等に課題作成環境を準備してください。 ・課題作品やレポート等のデジタルデータは適切にUSBメディアを準備しバックアップをお願いします。 ・使用ソフトなどは、学生各自でリサーチし、課題作成に必要な範囲内で準備をお願いします。 ・ラスターグラフィック系/ベクターグラフィックス系のソフトを用いた簡単なグラフィックの画像処理、画像の作成、各種テキスト/書体のレイアウト等程度の能力が求められます。 （利用するグラフィックソフトウェアは大学設備フリーソフトなどで対応してください） ※詳細は後日関連ガイダンスで説明します。 3) その他 ・毎回 課題進捗・授業参加状況確認のための画像エビデンス撮影等でスマートフォン等のデジタルカメラを利用します。 ・課題作品の印刷プリント出力やレポート課題作成出力でプリンターが必要になります。 ・一部課題での提出用のカラーカンパに関して紙面のカラー印刷が必須です。インクジェット/レーザープリンタの利用に関しては大学設備やコンビニ等の複合カラープリンタでの出力対応願います。 ※成績審査書類の作成準備にA4複写コピーが必要です。大学施設/コンビニ等での複写コピーサービスを利用して計画的に提出準備を行うこと。 ※詳細は関連ガイダンスで説明します。
準備学習と課題の内容	演習・課題作成に授業時間内ですべての作業が終わらない場合、復習に相当する授業時間外学習が必要になる場合があります。 自宅での事前リサーチ・課題作成などを通して、より深い認識が持てるよう各自で補習し、見識をもって授業に参加すること。 ★「準備学習」および「課題演習」として授業時間外学習（合計3時間程度）に費やしてください。 ・授業準備の一環としてWEBポータル/レポート登録等の掲示を確認し配布レジュメを一読しておく。 ・講義・課題を通して内容の理解に努める。 ・課題進捗【エビデンス】の提出・チェック。 ・エビデンス内容に不備がある場合【修正・再提出】指示を対象学生へ大学メールで連絡します。定期的なメール確認を怠らないよう。 ★【進捗エビデンス】 ・講義/演習や課題、レポートの実施で理解の定着を図る。 ・授業への参加確認：「課題/演習シート/レポート等の進捗確認のための【エビデンス】（画像やレポートデータ類）を期日までに大学WEBポータルへ提出し、チェックを受ける。 ・課題：演習シート/レポート等は指摘する修正やブラッシュアップをおこない評価資料となる課題原本として完成させる。 ・完成後順次【成績審査書類】として【複写紙面】書式を準備し、封書にまとめる。

	★【成績審査書類】 ・定期試験該当として「成績審査（複写紙面）書類一式」提出内容で成績評価/単位認定を行う。 ※追試/再試は実施しません。 ・単位認定に必要な評価用資料 / 「成績審査書類一式」に関して教員への提出用としてA4サイズ【複写紙面】を各1部作成が必須です。 ・エビデンス進捗チェックを受けた上で：各種課題成果物/演習シート/レポート等の修正・ブラッシュアップを経て完成させた【課題原本】から直接コピー機で複写された【複写紙面】書類を準備。 ・複写された「成績審査書類一式」は計画的に準備し、書類不備・紛失がないよう「角型封書」（角A4封筒）で保持管理をすること。 ・学期末に指定する提出期日までに「成績審査（複写紙面）書類一式」を指定「角型封書」にまとめ大学窓口へ一括提出すること。 ※課題：演習シート/レポート等の【課題原本：自身が鉛筆他で記入した原本紙面や作成データ】は単位認定完了まで本人が保持管理すること。 ※角型封書他で提出された書類一式は返却しない。
ディプロマポリシーとの関連割合（必須）	知識・理解 20%, 思考・判断 20%, 関心・意欲 30%, 態度 10%, 技能・表現 20%
DP1 知識・理解	
DP2 思考判断	
DP3 関心意欲	
DP4 態度	
DP5 技能・表現	